



学習サークルBE-GLOBAL (藤沢市)

子どもの学びを通じて地域をつなげる 居場所づくり



■学びを通じた地域づくり

学習サークル BE-GLOBALは「学びを通じて地域がつながり、みんなで世界を広げよう」をテーマに、2016年に藤沢市鶴沼で発足しました。立ち上げの中心は教育に携わっているメ

ンバーで、代表の新田 里奈さんは高校の英語教師です。当初は英語や数学、アートの講座など、子どもの学習支援がメインでした。活動を続けるうちに参加した親子から、この場を活用してもっと楽しいことをしたいとニーズが広がり、親子を対象とした講座や親だけを対象とした講座など、活動の幅を広げてきました。

■地域の資源をフルに活用

そこで問題となったのが、

活動拠点です。元々は公民館などの公共施設を活用していましたが、参加費のかかる講座を開催できないなど制約が多かったため鶴沼商店街に自分たちで活動スペース「BE-SPACE kugenuma」をオープンしました。10畳ほどのスペースはとてもアットホーム。週8コマ程度の定期講座のほか、月に4回程度、不定期の講座を開催しています。講座を主催する地域の方々からスペース



ボランティア

料を支払う仕組みです。

また、最初は講座の参加者として関わっていた人が、自分の特技を活かして別の講座の主催者になるという良い循環が生まれています。講座のテーマもギター講座や耳つば講座に至るまで多種多様。子どもたちに教えられることも多く、自分の好きなことをやっていることで失敗はないのだそうです。

■大切なのは表現力

単なる語学修得ではなく表現

一言アドバイス

自分たちが楽しむことが一番です。



学習サークルBE-GLOBAL

代表 新田 里奈さん (写真左から2番目)

成功のコツ

- ・自由に活動できるスペースづくり
- ・自分たちが楽しんでいる姿を見せて周囲を巻き込む
- ・ニーズに柔軟に応えられるよう活動計画は大まかに立てる

力を身につけてもらうことで、グローバルな人材を地域で育て、世界を舞台に活躍してもらうことがサークルの願いであり、講座では子どもにありのままの自分を表現してもらうことを大切にしています。

それゆえアート講座で使うスケッチブックはかなり大きなサイズ。自由に表現することが自己肯定感につながります。通っているうちに子どもの方から発的に「行きたい」と言ってくるそうです。

■無理なく続けるには

「活動を続けるうえで最も大切

なのは自分たちが楽しむこと」と新田さんは話します。新田さんや講座の主催者は今でも資金面で苦労しています。ただ、自分たちが楽しんでいる姿を見せることで地域の中で様々なつながりができ、物資の寄付を受けるようになりました。また、ニーズに柔軟に対応するために、団体の年間活動計画は大まかな予定のみを立てるようにしています。これからも楽しみながら無理のない形で新しいことにチャレンジしていくBE-GLOBALです。